

研究課題「大規模データを用いた、地域の医療従事者確保対策に関する研究」についての情報公開

1. 研究の対象

本研究では、1. ～3. の3つのステップで研究を行います。

1. 地域医療支援センターや都道府県へのヒアリング（現状の課題や対策といった現状調査）

地域医療支援センター、都道府県担当部署（2017年度：愛知県、福岡県、沖縄県、2018年度：北海道、宮城県、兵庫県、高知県、島根県、広島県、長崎県など）を研究対象とします。本項では、個人情報の保護に関する法律第二条に定義されている個人情報、例えば氏名、生年月日、住所、電話番号等に該当する質問事項はありません。ヒアリング方法は直接面接法を想定しています。

2. 医療機関、医療従事者、学生へのアンケート調査（キャリアパスなどの意識調査）

医療機関、医療従事者、学生を研究対象とします。本項においても、個人情報の保護に関する法律第二条に定義されている個人情報に該当する質問事項はありません。アンケート方式は医療機関においてはインターネット上に保存してあるファイルを担当者様がダウンロードして記入していただき、暗号化された伝送路を用いて提出して頂く方法で行う予定です。医療従事者に対してはインターネット法を想定しています。学生に対しては、ご協力いただく各教育機関（医学部、看護学部など）との話し合いで、各教育機関で集めていただくか、インターネット法を用いるかを定める予定です。

3. DPC 公開データや NDB データを用いた医療需給分析

二次データの利用のため、直接的な対象者はいません。本研究では2015年1月1日～2020年2月28日までのDPCデータやNDBデータを収集します。

【DPC データ】厚生労働省「DPC 導入の影響評価に関する調査 1)」で公開されている統計データを収集します。

※DPC（包括医療費支払い制度）データは、診断群分類包括評価を用いた入院医療費の定額支払い制度を導入する病院が作成するカルテ情報とレセプト情報のデータベースです。

【NDB データ】厚生労働省「レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するホームページ 2)」に則り、第三者提供を依頼し、NDB 特別抽出データの提供を受けます。抽出するデータは、DPC 病院以外での受診状況や医療圏内での医療需要、主要疾患における二次医療圏別流出入が把握できるデータで、非個人情報化（「匿名化されているもの（特定の個人を識別することができないものに限る。））」となっている）されたデ

ータです。また、NDB データについては一部集計が公開されているものがあり、そのデータも活用します。（第1回 NDB オープンデータ³⁾、第2回 NDB オープンデータ⁴⁾）

※NDB（レセプト情報・特定健診等情報データベース）とは、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき医療費適正化計画の作成、実施及び評価のための調査や分析等に用いるデータベースで診療報酬明細（レセプト）の匿名データが含まれています。

（参考資料）

1) 厚生労働省「DPC 導入の影響評価に関する調査」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000049343.html>

2) 厚生労働省「レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するホームページ」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iryuhoken/reseputo/index.html

3) 第1回 NDB オープンデータ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000139390.html>

4) 第2回 NDB オープンデータ

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177221.html>

2. 研究目的・方法・研究期間

〈研究目的〉

医療従事者確保の具体策を考える際の基礎データや好事例の提供、それに基づいた医療従事者確保に向けた有効な策を提案することを目的とします。

〈研究体制〉

全体の研究体制は、研究代表者として宮田（愛知医科大学）、本学責任者として山下（名古屋大学医学部附属病院メディカル IT センター）、研究分担者として西村（名古屋大学医学部附属病院メディカル IT センター）、共同研究者として小林（神戸大学大学院医学研究科）、林田（産業医科大学病院）、村上（産業医科大学病院）、石川（国立がん研究センター）の体制をとります。

〈研究方法〉※本学のものが係る箇所に下線。

1. 地域医療支援センターや都道府県へのヒアリング（現状の課題や対策といった現状調査）を行います。（全員）

2. 医療機関、医療従事者、学生へのアンケート調査（キャリアパスなどの意識調査）を行います。（山下、西村）

3. DPC 公開データや NDB データを用いた医療需給分析を行います。(小林、林田、村上、石川、山下、西村)

1. ~ 3. の分析結果に基づいた、医療従事者確保に向けた有効策を提案します。(全員)

〈研究期間〉

実施承認日~2020 年 3 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

〈取得するデータ〉

・ 1. 2. のステップに関しては、個人情報の保護に関する法律第二条に定義されている個人情報は含まれていません。

・ 3. において、取得するデータは以下の通りです。

【収集対象期間】2015 年 1 月 1 日~2020 年 2 月 28 日

【DPC データ】厚生労働省「DPC 導入の影響評価に関する調査¹⁾」で公開されている統計データ。

【NDB データ】厚生労働省「レセプト情報・特定健診等情報の提供に関するホームページ²⁾」に則り、第三者提供を依頼し、NDB 特別抽出データの提供を受けたデータ。抽出するデータは、DPC 病院以外での受診状況や医療圏内での医療需要、主要疾患における二次医療圏別流入出が把握できるデータで、非個人情報化されたデータ。また、NDB データ公開データ。(第 1 回 NDB オープンデータ³⁾、第 2 回 NDB オープンデータ⁴⁾)

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究期間へのデータ提供はパスワードによるアクセス制限と暗号化処理を行った外付け記憶媒体(ハードディスク)に保管し、研究者間の手渡しにより提供します。

5. 研究組織

〈研究代表者〉

愛知医科大学・医学部地域医療教育学寄附講座・教授(特任)・宮田 靖志

〈研究責任者(本学内)〉

名古屋大学医学部附属病院・メディカル IT センター・病院助教・山下 暁士

〈研究分担者〉

名古屋大学医学部附属病院・メディカル IT センター・技術補佐員・西村 紀美子

〈共同研究者〉

・神戸大学大学院医学研究科・医療システム学分野 医療経済・病院経営学部門・特命准教授・小林 大介

- ・産業医科大学病院・医療情報部・部長／大学院医学研究科 看護学専攻 看護管理学分野（兼任）・教育教授・林田 賢史
- ・産業医科大学病院・医療情報部・MQM 室長／医療安全管理部（併任）講師・村上 玄樹
- ・国立がん研究センター・社会と健康研究センター臨床経済研究室長・石川 ベンジャミン 光一

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

本研究は公開されているデータ、もしくは非個人情報化されたデータを収集し、分析を行うものであり、研究対象者に対して危険を含みません。また参加、不参加に関わらず、研究対象者の不利益にはなりません。

名古屋大学医学部附属病院 メディカル IT センター（担当：西村）

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

直通電話番号 052-744-2865 FAX 番号 052-744-1916

e-mail nishimura.kimiko@med.nagoya-u.ac.jp

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院・メディカル IT センター・病院助教・山下 暁士

研究代表者：愛知医科大学・医学部地域医療教育学寄附講座・教授（特任）・宮田 靖志